

第43回日本血液事業学会総会の開催にあたって

総会長　日本赤十字社東北ブロック血液センター名誉所長　清水　博

2019年10月2日(水)から4日(金)までの3日間、仙台国際センターにおいて、第43回日本血液事業学会を開催します。

仙台市における本総会の開催は、2012年に当時の宮城県赤十字血液センターの伊藤孝所長が主催されて以来7年ぶりです。

総会のテーマは「進化する医療と血液事業の調和を目指して」としました。

基本方針は、以下の4項目です。

- 1 血液事業に従事する人々が参加する学会であることを意識します。
 - ・テーマに「進化する医療」とあるように、「iPS細胞を用いた血小板製剤の臨床応用の展望」など最先端の研究成果の講演及び「血液法・薬機法改正に伴う血液事業の変革」などUpdateな講演を企画する一方、医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師、血液製剤技術専門員及び一般職の方々が互いに情報共有をすることに重点を置いた教育講演、シンポジウム及びワークショップを企画しました。
- 2 従来の総会運営方法に囚われません。
 - ・原則として座長は一人としました。
 - ・ポスター発表は展示及びパワーポイントを使った口演としました。
 - ・「血液事業動画コンテスト2019」及びミニコンサート(ピアノ演奏)を企画しました。
- 3 「簡素化」をkey wordとします。
 - ・学会運営は、アルバイトは採用せず、東北ブロック管内の職員及び運営事務局の力を結集して行います。
 - ・会員交見会はカジュアルに楽しんでいただけるよう努めます。
- 4 東北の特色を活かします。
 - ・「東日本大震災と危機管理」及び「新渡戸稻造の思想と赤十字活動」など地元講師による特別講演、ポスター作成は東北芸術工科大学並びに会員交見会は東北B級グルメ料理及び津軽三味線の演奏などを企画しました。

今回の総会プログラムは、特別講演7題、教育講演8題、シンポジウム8テーマ、ワークショップ2テーマ、特別企画4題及び共催セミナー8題を準備しました。また、一般演題は281題(うち口演147題及びポスター134題)、特別企画「血液事業動画コンテスト2019」14題と、多くのご応募をいただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

10月の東北地方は紅葉が色鮮やかで、果実、魚介類、和牛及び日本酒・ワインなど、地産の美味しい食べ物が沢山あります。また、様々な種類の温泉が豊富に湧出しており、“みちのくの旅”を堪能していただけるのではないかと思います。

一方、東日本大震災から9年目の復興状況をご自身の眼で確認していただければ幸甚です。

総会当日には、多くの皆様にご参集をいただき、広く活発なご議論により、有意義な総会になることを祈念し、皆様のお越しをお待ちしています。

末筆になりますが、本学会総会を開催するにあたり、日本赤十字社血液事業本部、東北ブロック管内血液センターをはじめ全国の会員の方々並びに共催セミナー及び展示等でご協力いただいた企業の方々に深く感謝申し上げます。